

平面分割と垂直二等分線

1つの領域をいくつかの領域に分割して、それぞれの部分領域を管理するといったことはよく見られます。ここでは、分割する領域を平面に限って、平面の分割について考えてみたいと思います。特に中心となる点がいくつかあって、それらの点を中心にして、平面領域を分割する場合を考えてみます。これは、町に同じ施設をいくつか配置するのにどこが良いかという問題などにも関係してきます。例えば、避難所を設置するのに、どのような考えに基づいて設置するのが良いでしょうか。住民がすぐにかかけつけられる場所（距離が近い場所）はもちろんですが、高い場所（地形）や避難できる人数（人口分布）を考慮した設置も考えられます。こういった問題の基本的な考え方として、中心となる点と点を結ぶ線分の垂直二等分線が分割の境界線になるということです。この考え方は非常にシンプルですが、これに従った現象が施設配置以外に現実に多くみられます。研究室見学では、四国を例に取り出して、県庁所在地（各県の中心点）と県境（境界線）の関係を今回の考え方で捉えることができるかどうかを見てみたいと思います。時間があれば、他の例などについても触れてみます。

